

上下水道局の決算

上下水道局の会計は公営企業会計です。この会計では、水道料金などの収益と施設の維持管理費用の「収益的収支」と、施設整備の支出とその収入財源の「資本的収支」の2つに分けて管理しています。



上下水道事業は、皆さんが支払っている水道料金と下水道使用料を主な財源として運営しています。30年度の決算は、水道事業と下水道事業が共に純利益を計上しました。

施設の老朽化や使用水量の減少など、厳しい経営環境にありますが、今後も良質な上下水道サービスを提供するため、業務の見直しや適切な事業選択を行い、効率的な運営に努めます。

【問】上下水道局経営企画課 ☎623-1442

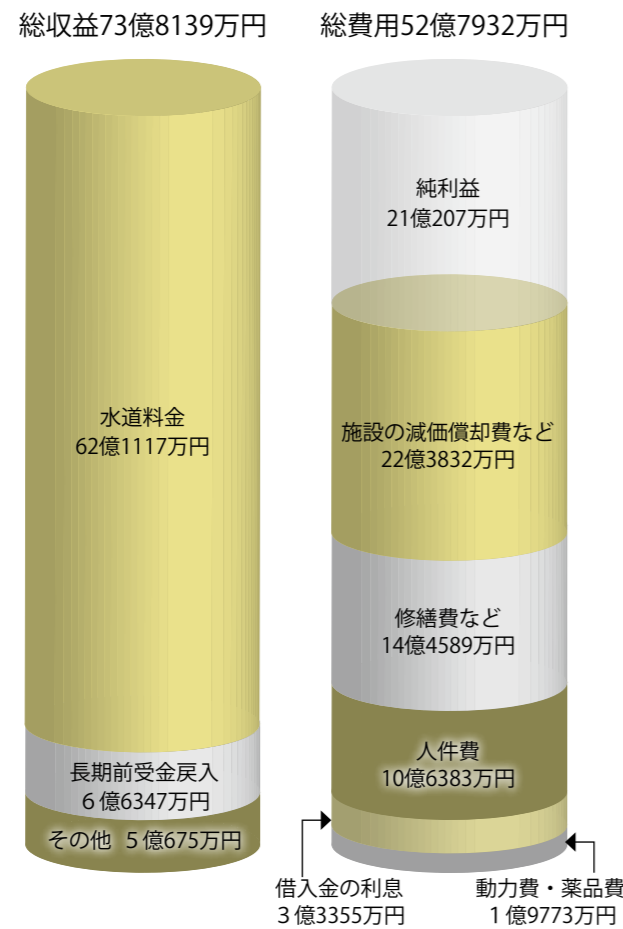
水道事業

総収益は73億8139万円、総費用は52億7932万円で、収益的収支は21億207万円の純利益となりました。

- #### 主な事業
- 安定した給水確保のため、老朽化の進んでいる浄配水場施設や配水管路を計画的に更新しました
 - 災害に強い水道システムの構築のため、応急給水用資機材を整備し、災害対応訓練を行いました
 - 水道水源の良好な水質を保つため、水源かん養林を適切に維持・管理しました
 - 水道への理解と関心を深めるため、上下水道局広報紙「みずの輪」の発行や水道施設見学会などを行いました
 - 水道事業を担う人材の育成を行うとともに、料金収入の強化など、健全な事業運営に努めました

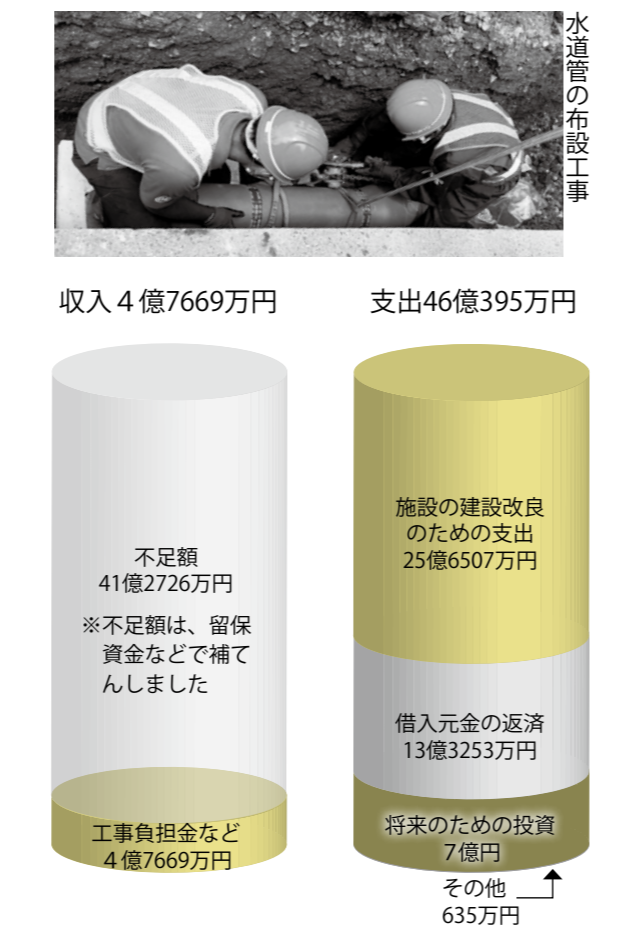
水道水をつくり送り届けるための収益と費用

収益的収支（消費税抜き）



水道施設を整備するための収入と支出

資本的収支（消費税込み）



下水道事業

総収益は80億6782万円、総費用は74億8915万円、収益的収支は5億7867万円の純利益となりました。経営の効率化に努め、今後もさらなる改善を図っていきます。

- #### 主な事業
- 衛生的な生活ができるよう、生活排水を処理場まで送る「汚水管」や雨水の浸水を防ぐ「雨水管」を整備しました
 - 安定した汚水処理と浸水被害の防止を図るため、ポンプ場などの下水道施設を修繕しました
 - 下水道施設の老朽化への対応のため、長期的な施設管理計画を立てるための設計をしました
 - 水洗化普及促進のため、排水設備無料点検の実施や、職員による水洗化の訪問指導をしました

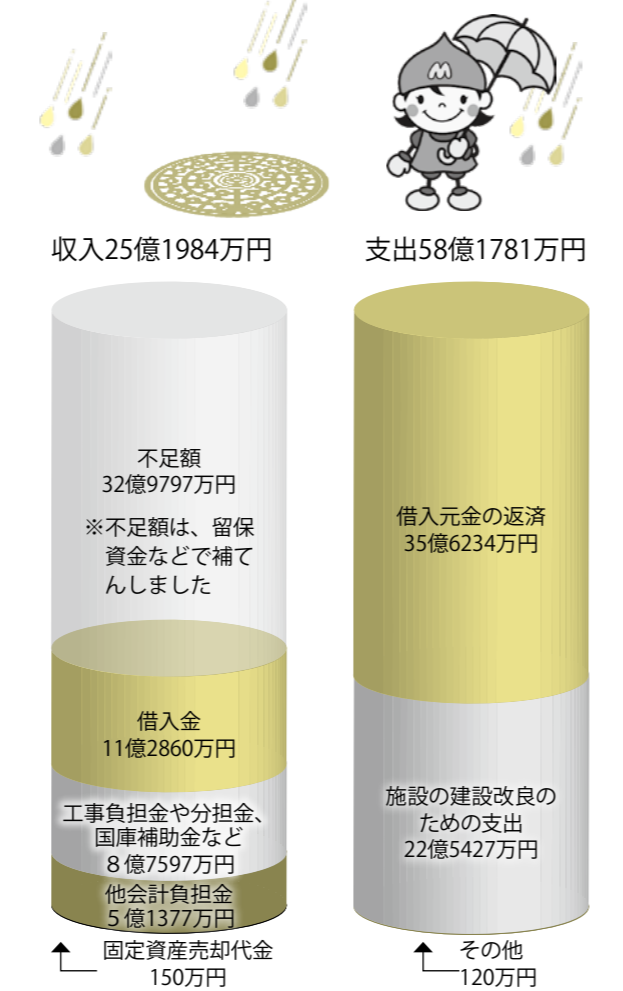
下水を処理するための収益と費用

収益的収支（消費税抜き）



下水道施設を整備するための収入と支出

資本的収支（消費税込み）



市立病院の経営状況

診療体制やさまざまな取り組み、最新情報などをホームページで紹介しています。

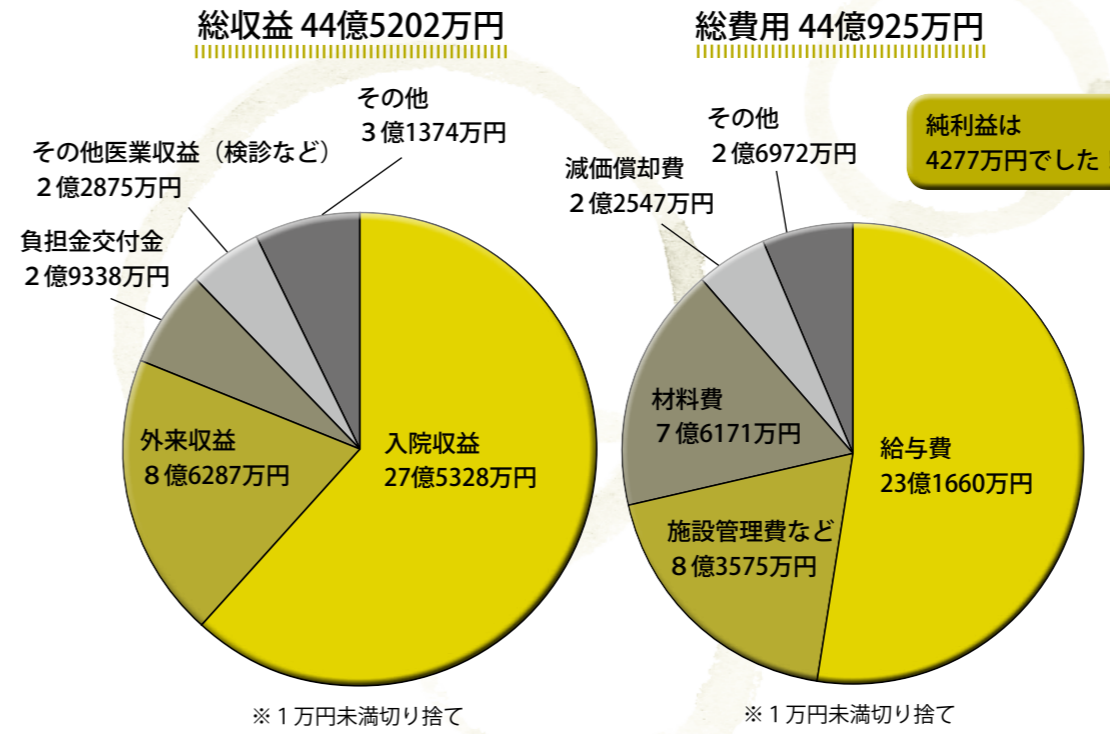
【問】市立病院総務課 ☎635-0101

盛岡市立病院

■平成30年度の決算

市立病院は、一般診療や各種健康診断を行うほか、救急医療にも対応するなど、皆さんの健康のために必要な医療を提供しています。

30年度は、入院収益や外来収益などの総収益は44億5202万円、給与費や材料費などの総費用は44億925万円で、4277万円の純利益となりました。



■令和元年度の取り組み

30年度に引き続き、地域の診療所や病院、介護施設などと連携を進めています。高齢社会の進展に伴い今後も増加が予想される、がんや生活習慣病、認知症、肺炎、骨折などに対する対応を強化し、地域の中核病院として地域包括ケアシステム※を支えます。

※高齢者や要介護者などが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する仕組み

1 救急医療体制の拡充

岩手医科大附属病院の矢巾町への移転後も、市民の皆さんが安心して救急医療を受けられるよう、医師や看護師などの医療スタッフを増員し、受入体制を強化しました。



救急医療体制の拡充

2 医療連携支援センターの設置

同センターでは、地域連携・入院支援・医療相談・療養支援の4つの部門を包括した業務を行っています。特に、入院支援部門は、円滑な入院生活を送り安心して退院してもらうために、外来受診時から退院後の生活までを総合的に見据えて必要な支援をします。



医療連携支援センターの設置

3 訪問診療の開始

自分で受診できない状態で、在宅で行わなければならない医療行為があると医師が判断した場合、医師や看護師が自宅などへ訪問して診療できるような体制を整えました。

4 院内設備などのリニューアル

内視鏡室とリハビリテーション室、女性検診室の整備・拡充を行い、診療機能の拡充を図ります。

30年度の主な取り組み

- ① 医療サービスの拡充**
脳神経外科の新設により、頭部外傷などの受け入れを開始したほか、外科及び泌尿器科の常勤医師を1人増員し、手術件数が増加（前年比21%増：243件）しました。
- ② 検査体制の充実**
神経内科医と脳神経外科医が連携した脳ドックを始めたほか、成人検診では子宮頸がん検診を再開し、より多くの人が検査を受けられる環境を整えました。
- ③ 運動療法の個別指導の開始**
患者の病状や体力に合わせた筋力トレーニングや水中ウォーキングなどの個別の運動メニューの提供を始めました。また、65歳未満の生活習慣病患者を対象に、糖尿病・代謝内科医師と理学療法士、看護師、栄養士が連携し、患者の筋力や運動機能に合わせて総合的に判断した上で運動メニューを考案し、個別に指導しています。

定期的に検診を受けましょう

■人間ドック料金の割引引き

来年2月・3月に人間ドックを受ける人を対象に、料金を割引します。期間内の料金は表のとおりです。各コースにより曜日が決まっています。詳しくはお問合せください。

表 期間内の料金（税込み）	
検診コース	料金
1泊人間ドック	6万2000円
1泊人間ドック+脳ドック	9万1000円
日帰り人間ドック	4万1000円

■乳がん検診・子宮頸がん検診（成人検診）

気付かないうちに症状が進行するがん。早期発見には定期検診が有効です。

- 【日程】▶乳がん検診：毎週月曜・水曜・金曜 ※祝日除く
▶子宮頸がん検診：実施日はお問い合わせください
(いずれも来年3月13日(金)まで)

【申し込み】同病院 ☎635-0101 で事前予約が必要。受付時間は、月曜～金曜（祝日除く）の次の時間帯です。

- ▶人間ドック：9時～17時
▶乳がん検診・子宮頸がん検診（成人検診）：13時～16時半